

夢をかなえるために 学んだことを 自分の言葉で 語る子どもを育てる

学校教育目標

「夢をもち たくましく」

心を磨き
知性を高め
身体を鍛え
共に生きん北広島市立
東部中学校

ひろがり

新学期に向けての決意～代表生徒の言葉～

◆3年生代表

3学期は、3年生にとって高校入試に向かう時期であります。中学校生活を締めくくる大切な期間でもあります。

昨年は新型コロナの影響で、各種行事が中止・縮小となり、後輩に東部中の伝統や一丸となって取り組む姿を見せる機会が限られてしまいました。3学期は大きな行事はありませんが、日々の授業を大切にすること、落ち着いた学校生活を過ごす姿を示すことが、後輩に残すことができる東部中の良き姿だと思います。

2学期や冬休み、それぞれが学習に向けて頑張ったと思いますが、3学期はそれ以上に頑張らなくてははいけません。受験校や日時は違いますが、志望校に合格する目的だけでなく、進学後に、周りとの差がつかないように準備をする意味でもこの時期の学習は大切です。

千円札の肖像画で黄熱病の研究をした野口英世さんは、「忍耐は苦い。しかし、その実は甘い」という言葉を残しています。今の私たちに当てはめれば、「今は勉強を頑張って取り組むことが、春からスタートする高校生活を豊かなものにする」となります。将来に向けて、なりたい自分になれるよう今できることを精一杯頑張らしましょう。

◆1年年生代表

私達が1年生として過ごす残り2ヶ月を充実したものにするために改善していきたいことがあります。授業と休み時間の切り替えです。2学期は3分前に着席しても私語があったので、3学期はお互いに注意し合いたいです。4月に新1年生が入学した際に、自分達がお手本となれるように「3分前着席」「あいさつ」「授業中の態度」など、普段の生活をもう一度見直し、自信を持って新入生を迎えたいです。また、2年生ではクラス替えがあるので、このクラスでよかったと全員が思えるように、たくさん交流し、楽しく過ごしたいと思います。

◆2年生代表

3学期は、2年生での生活を振り返り、3年生へ向けての準備をしていくことになります。そこで大切にしたいことが2つあります。一つ目は、4月から最高学年になる自覚を持つことです。最高学年は、学校のお手本となる存在です。普段の生活習慣、学校生活を今一度見直し、3分前着席や授業態度などの課題を全員で改善したいです。二つ目は、学習面です。苦手教科の克服や提出物の期限を守るなどの課題に力を入れて、受験生になる自覚を全員で持ちたいです。47日と短い3学期ですが、3年生へつなげられる有意義な学期にしていきましょう。

◆生徒会代表

2学期には、代議員と生活委員が総合強調週間を実施しました。号令がしっかりできていないクラスとできていないクラスの差があったこと、友達との話に夢中になり3分前着席ができなかった等の反省がでていました。3学期でも、総合強調週間は続きます。自分の委員会の内容はもちろん、他の委員会の活動も理解・把握し、みんなでよりよい東部中をつくっていきましょう。ご協力よろしくお願いたします。